



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

2022年8月2日(火) 発行

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ



〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨YMCAグローバルコミュニティセンター
☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

主 題 101 11 101 11 年度	国際会長	K・C・サミュエル (インド)	「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」	甲府21ワイズメンズクラブ 2022年8月会報 今月の強調テーマ 戦略2032
	アジア太平洋地域会長	シェン・チ・ミン (台湾)	「新しい時代とともに、エレガントに変化を」	
	東日本区理事	佐藤 重良 甲府21	「未来に向けて今すぐ行動しよう」	
	あずさ部部長	後藤 明久(富士五湖)	「ワイズへの参加と交流を楽しもう」	
	甲府21クラブ会長	廣瀬 健	「目標を決断し実行する」 Go for it!	

〈今月の聖句〉

選者 葉袋 勝

◇コリントの信徒への手紙二 9章-7

「各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。」

〈8月第一例会プログラム〉

日時 2022年8月2日(火)19:00
会場 山梨YMCA グローバルコミュニティセンター
形態 ハイブリッド開催

司会 水越正高書記

1. 開会点鐘
2. ワイズソング
3. ワイズの信条
4. 今月の聖句
5. 会長あいさつ
6. ハッピーバースデー
7. ゲスト卓話
8. 諸報告
 - ・バザー実行委員会について
 - ・東日本区大会
 - ・会費納入の件
9. YMCAの歌
10. 閉会点鐘

葉袋勝メン
廣瀬健会長

8月が来るたびに

甲府21クラブ
会長 廣瀬 健



コロナ第7波 BA5 変異カブ、颯(イタチ)ごっこ続きます。ワクチン接種率 40歳以下は50%以下、60歳以上は80%以上 行動範囲の広い若い世代の接種率を上げる! とにかく国民全体の接種率を上げないことには永遠にコロナ禍は続きます。会長職、一か月キックオフ例会スタートし第一回山手あずさ評議会、YMCAとの共同事業もろこし収穫販売など目白押しです。リアル行動いつまた自粛に入るか不安が募ります。現況、第一例会第二例会リモートプラス(ハイブリット)を行う予定です。

7月16日の第一回あずさ山手評議会に甲府21からは11名参加してきました。全体56名参加 高齢化にはびっくりしました。70歳代80歳代の方が半数近く各クラブ若返りは必須です。5~6年で自然消滅するクラブも出てくるのが現実早急の対策が必要と感じた。新入会員=クラブ存続。当クラブは宮岡YSの頑張りで会員数、若返り(平均年齢60歳代前半)これからも若い力をたくさん注入していきたい。改めて感謝!

あずさ部クラブから野菜、果物のファンドに協力販売したい旨連絡が入っています。そろそろバザー準備で種まきが始まります。参加したことのないメンバーぜひ参加ください!きつと何かを感じます。

Happy Birthday!
《8月の誕生者》

<メン> 小野興子 (8/27)
輿水順雄 (8/6) 飯田剛 (8/30)
駒田勝彦 (8/6) <メネット>
藤原琢也 (8/7) 相川泰代 (8/8)
小林秀雄 (8/18) 後藤征子 (8/30)
松原 豊 (8/18) 山縣洋子 (8/30)

《7月の出席者》

【7月出席者】
会員数 53名
例会出席者 30名
その他行事参加 8名
[メネット5名]
ゲスト参加者 8名
出席率 64%

【会計報告】

2022年7月末現在



項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
7月の合計	32,611	0	0	32,611
7月末迄累計	32,611	0	0	32,611
達成率	13.0%	0%	0%	8.2%

色がない世界の為に

ブリテン委員長 野々垣和宏です。7月号から担当になりました。実は、A4で作成することというブリテンルールがあるので、今迄とはサイズが変更になりました。またウクライナの方々を思っていたいということで一部白黒の誌面しております。見づらい点ご容赦を。

例会報告 書記 水越正高

□2022年7月第一例会報告□

□日時 2022年7月5日(火)19:00～

□会場 岡島ローヤル会館

2022年度のキックオフとなる7月の第1例会は、岡島ローヤル会館にて盛大に開催されました。ゲストを含めると40名近くの多くの参加者を迎え、ゲストには甲府市副市長、あずさ部部长、他クラブの代表の皆様が参加くださいました。

総会では、前年度の事業報告、決算報告から始まり、新年度の事業計画・予算案が全会一致にて承認され、廣瀬会長を筆頭とする新体制がスタートいたしました。

今回参加することが叶わなかった会員の皆様は、ぜひ事業計画書に目を通し、年間計画及び会長方針を把握するようお願いいたします。

第2部では、久しぶりの懇親会が開催され、久しぶりの交流に楽しい時間が流れるのを感じ、チャーターメンバーの皆様からの一言では、熱い気持ちを頂戴しました。

甲府21クラブのさらなる発展を予感させる例会となったことを報告いたします。

参加者数 41名 【会場参加メンバー:33名 ゲスト8名】



上段：キックオフ集合写真
下段左 米長さんに花束を 中 廣瀬会長 右 後藤部長来甲

□2022年7月第二例会報告□

□日時 2022年7月19日(火)18:30～

□会場 山梨YMCAグローバルコミュニティーセンター

※ZOOMによるハイブリッド開催

①会長挨拶

②7月における各種イベント報告

◎トウモロコシ収穫・バザー

◎東日本区理事引継ぎ式

◎あずさ部評議会

◎清走中(ユースアクション)

③諸報告

◎山口会計より、会費の振込手続きについて

◎「やまなみクラブ」チャーターナイトの開催について

◎ベビーカーコンサートの進捗について

◎無料一般抗原検査について

④次回8月の例会のお知らせ

参加者数 15名 【会場参加メンバー:10名 ZOOM5名】

山梨YMCAチャリティー もろこしバザー報告 寺田 喜長

2022年7月9日(土)いつも野菜栽培でお世話になっております沼田様の畑で栽培し、キラキラ教室の生徒が手入れをお手伝いしましたトウモロコシを「山梨YMCAチャリティーもろこしバザー」として販売を行いました。朝採りの新鮮なモロコシを提供するために、5時半より収穫作業、早朝にも関わらずクラブ8名、YMCA3名、そのほかにも参加いただいた13名にて1時間半ほどで約1000本を収穫、おむすびとお茶の休憩をはさみ、箱詰め作業を行い軽トラ2台にてYMCAに搬送、甲府クラブメンバー、当クラブメネットも加わり9時より販売開始、1時間にて閉店、完売と言いたところでしたが、収穫時期が数日遅く、熟しすぎのモロコシが含まれており予定数の販売は出来ませんでした。農作物を取り扱う難しさを再確認。YMCAに尽くそうというY'sメンズクラブの活動を2クラブの協力にて実施でき僅かではありますがYMCAの活動支援が出来たのではないのでしょうか。人件費を考えればとても採算が合う活動ではありませんが作付けから収穫迄の一部をキラキラ教室の生徒と行いました共同作業が実を結びました。畑の提供と、生育管理をして頂いた沼田様ご夫妻には心より御礼申し上げます。

収穫参加者(敬称略) 浅川、飯田、小澤(公)、佐藤(重)、寺田、野々垣(健)、広瀬、水越、藤原(以上甲府21)、中田、平賀、武藤(以上YMCA)、今野

販売参加者 飯田、小澤(公)、佐藤、寺田、野々垣(健)、松村(豪)、荻野メネ、野々垣メネ、松村仁メネ、葉袋メネ、山縣メネ、(以上甲府21)、丹後、渡辺(徳)、広瀬、杉田、(以上甲府)、中田、平賀、武藤(以上YMCA)





清走中 甲府編



「清走中！」 チーム F

YMCA、ユース、Y'sの3つのYでの共同イベントが7月18日10時から快晴のもと、舞鶴城公園をスタートして総勢約100名のゲーム感覚でのゴミ拾いイベントが開催されました。子供たちにゴミ拾いからのSDGsについて学んで貰えたらとの趣旨で企画開催されました。スタート前の参加者のワクワクした顔がとても印象的でした。

1チーム3人にてトンぐとゴミ袋持ったのゴミ拾い散策。ポイ捨てされたタバコ、ペットボトル、空き缶、傘、様々なゴミが綺麗なはずの街に意外と落ちていました。スタートして5分後ミッション発動。
 ◇ミッション1、「エリア内に3体のハンターの写真を撮れ」市内を黒のスーツ姿で巡回（Yのボランティア、ケンケンがハンター役で参加）
 ◇ミッション2、信玄にミッション1で撮影の写真を見せ特別なアイテムと交換できるスタートの際に、舞鶴城上段にて、甲冑姿で登場させていた山梨ならではのサプライズミッションの武田信玄がミッションに登場。参加者が喜んでくれました。武将の甲冑をご用意して頂きました、甲府クラブの渡辺ワイズには本当に感謝です。
 ◇ミッション3 パスワードでハンターの動きを止めて、逮捕状をゲットし、信玄に渡す。

様々のゲーム感覚でゴミ拾いを行ってました。

◆ハプニング発生!!!!!!
 最終ミッション中にiPadを使つてのミッションがありました、まさかの夏日の高温の為、iPadがフリーズするというハプニングありましたが、水越ワイズの見事な機転でハプニングを回避。（機械の音が出ないので、声を張つてのご案内!!）約一時間半の清走活動にて約50kgのゴミを拾い、甲府市内が綺麗になりました。

終了後に武田信玄役の英和大学の男性に「重い暑くて大変じゃなかった？」って聞いたら、「普段鍛えてますから余裕です。」って返事。凄すぎる。武田信玄役のオーディションに私は落選しましたが、彼に任せて良かったと思いました。（F）

終了後に参加のご家族や子供に話を聞いたら「とても楽しかった」と笑顔で返答してくれました。樋口市長には開会式でご挨拶を頂きました。後日政策推進室SDGs課の課長様からは、「甲府市内において、非常に有意義なイベントが開催できましたこと誠に感謝しております。」と御礼のメールを頂きました。市の環境部でも「路上喫煙禁止地域で実際にどれだけの量のタバコが捨てられているか知りたいのでタバコの量を教えて下さい」との事でした。行政、市内住民など様々な方にご評価を頂いたようです。改善点などありますが、次回開催の際は更なる拡大を出来る様にしたいです。

前日までの福田リーダーとひろっち（菊池君）の行動力には脱帽です。数カ月前から準備に取り掛かり、前日までのミーティング本当にお疲れさまでした。当日の感想を聞いてみました！

福田 Gabの北村さんの言葉、「多くのゴミが川を流れて、たくさんの海の生物の命を奪ってしまっている。でも今日、これだけのゴミをみんなが拾ってくれたおかげで、海を汚さなくて済んだ。今日、このゴミを拾ってくれたみんながヒーローだ!」という言葉は、拾ったゴミを前にして語られると本当に説得力があり、それを聞いて目をキラキラと輝かせた誇らしげな子どもたちの姿が、主催させていただいたわたしたちにとっては一番の「ご褒美」でした。

菊池 多くの方々の協力により無事成功させることができ、とても嬉しく思います。子どもたちをはじめとした、参加者の方々に「ゴミ拾いって楽しい!!」と思ってくれたことができたのならば、あそびとSDGsの接続をキーワードに掲げている私達にとっては価値あるイベントになったと思います。

水越 若者の力は素晴らしいですね。これからも応援していきたいです。

市川 大学生の皆さんが一生懸命イベントを運営されており感銘を受けた。夏の暑い時期は避けて開催した方が良いと思った（笑）

東日本区の佐藤理事の推奨のユースアクションは可能性を秘めています。ユース世代からは無限の力を感じとりました。学生ボランティアの方々には感謝です、このような事を機会に繋がっていけたらと思います。松村ワイズは夫婦で清走中に参加してくれましたが、ゴミ沢山拾えましたか？（笑）

当日私のミッションは参加賞のアイスとボランティアの人の弁当を買いに行く事でした。

私はコロナ大丈夫かな?とか熱中症大丈夫かな?とか色々迷走中でしたが、無事に終わり良かったです、イベントを盛り上げて頂いた皆さんには感謝です。次回を考えると、ちむどんどんします。

甲府21ボランティアスタッフ（敬省略）
 荻野 佐藤（利） 寺田 佐藤（重）
 市川 水越 藤原



拾ったゴミの量（種類、重さをゴミーに換算）記録カードが配られました。

◆YMCA便り◇

2022.07.25

「誇り高き人々」

総主事 中田 純子

山梨 YMCA には甲府ワイズメンズクラブ、甲府 21 ワイズメンズクラブ、富士五湖ワイズメンズクラブ、松本ワイズメンズクラブ、長野ワイズメンズクラブの 5 つのワイズメンズクラブが存在する。さらに今年の 9 月設立予定のやまなみワイズメンズクラブを含めると、6 クラブとなる。

5 月には長野で行われたあずさ部評議会、6、7 月とそれぞれのキックオフ例会に出席し、各クラブ会員の方々と出会い、励ましのことばを頂いた。

例会では必ず、ワイズの信条を声に出し耳に入れる。「1・自分を愛するように、隣人を愛そう」から始まり、「5・会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう」で終わる。この 5 つの信条は人として当たり前のことであり、日本人が大切にしてきたことである。

今の社会、世界に目を向けると、自分最優先を進める人々がいる。しかし、ワイズメンズクラブは社会貢献に努め、YMCA を愛し誇り高き人々のいる団体であると実感した。

山梨 YMCA はこれまでワイズメンズクラブと共に歩んできた経緯があり伝統がある。ワイズの信条と共にある誇り高き人々となつたり、何を最優先すべきかみつけれ、弱き子どもたち、皆が暮らす地域、社会がよくなることを目指したいと強く願う。祈りの時を守りたいと思う。



ペンリレー



お盆の由来と歴史

赤根 学

お盆の正式名称、盂蘭盆会(うらぼんえ)または盂蘭盆(うらぼん)といいますこの名称は、盂蘭盆経(うらぼんぎょう)というお経が由来であるとされています。「うらぼん」は日本語では聞きなれない響きですが、サンスクリット語で(逆さ吊りの苦しみ)を意味する(ウラバンナ)からきていると言われています。ペルシャ語で靈魂を意味する(ウラヴァンナ)が由来だと言う説もあります。このお経のもとなるエピソードがあります。

釈迦の弟子である目連(もくれん)は神通力で亡き母が地獄で逆さ吊りの刑を受けていることを知り、なんとかして母を救済できないかと思い、釈迦に教えを乞いました。釈迦は旧暦の7月15日、現在の8月中旬ごろに多くの高僧を心から供養すれば三途の苦しみから救えるでしょうと伝えます。目連はその通りに実践したところ母親が往生することが出来ました。このお経が日本に伝わり8月のお盆に先祖の恩に感謝してお墓参りや迎え火などの行事が始まったと言われています。

盆とは文字通り供物を置くための容器を意味するため、供物を供え祀られる精霊(しょうりょう・ぼんさま)の呼称となって盂蘭盆と混同されて合わさったものと言われています。日本でお盆が行われたのは606年に推古天皇が、推古天皇14年7月15日齋会という行事を行ったのが始めだと言われています。江戸時代以前はお盆は貴族や武士、僧侶などの上流階級の行事でした。しかし江戸時代になるとお盆の風習が庶民の間にも広まります。その理由はロウソクの普及にあると言われています。仏壇や灯籠に欠かせないロウソクが大量生産で安価に取得出来るようになった事で日本全国に広がりました。お盆は宗教・宗派や地域によって独自の発展を見せ、お坊様が自宅に来て頂きお経をあげてもらうのが現在の姿に至ります。

花屋からひと言・・・ほおずき(鬼灯) お盆はご先祖様の魂があつた世から帰って来ます、その時に目印になるのが迎え火や盆提灯の灯りです。ほおずきのふつくと膨らんだ形が何処か盆提灯のように見えますその色と形からほおずきは自然界の提灯としてお盆に飾られるようになりました。ほおずきの中は空洞になっているのでご先祖様の魂が宿る場所とも考えられています。

東日本区理事引継ぎ式

2022.07.10 於山梨 YMCA



2022 年-2023 年度 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の理事に甲府 21 ワイズメンズクラブの佐藤重良メンが選ばれ、その就任式と大久保知宏直前理事からの引継ぎ式が行われました。例年では東日本区大会の中に司式が含まれておりますが、今般は完全リモート開催となった為、2022 年 7 月 10 日山梨 YMCA ステージで行われました。司会・司式は元アジア太平洋地域会長 田中博之さんに執り行って頂きました。



<https://youtu.be/tNllg014IJM>
小澤智之メンに撮影編集頂きました。
どうぞご覧ください。(YouTube)